

サンプルの評価

サンプルのテスト結果の有効性を評価する

◇機能

《サンプルの評価》は、抽出したサンプルのテスト結果から、誤謬率/額が許容できる範囲にあるかどうかを評価するコマンドです。

◇メニュー

《サンプリング》-《サンプルの評価》

◇設定内容

サンプリングの種類がレコードサンプリングか金額単位サンプリングかにより、パラメータの設定項目が異なります。

● レコードサンプリングの場合

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
《サンプルの評価》は、サンプルレコードを抽出した元のテーブルに対して実行します。
2. 種類 (必須) : サンプリングの種類を選択します。レコードサンプリングで抽出したサンプルのテスト結果の評価をする場合は、「レコードサンプリング」を選択します。
3. 信頼度 (必須) : サンプルの信頼度をパーセンテージで入力します。「90%」の場合は、「90」と入力します。
4. サンプルサイズ (必須) : サンプルレコードの件数を数値で入力します。《計算》ボタンでサンプルサイズを算出することもできます。《計算》ボタンの機能は、《サンプリング》コマンドの《サンプルサイズの計算》ボタンと同じです。詳細は、「サンプリング」の「◇サンプルサイズの計算」を参照してください。
5. 誤謬数 (必須) : サンプルをテストした結果、誤謬や逸脱があったレコード件数を数値で入力します。
6. 《実行》ボタン : 実行します。
7. 《キャンセル》ボタン : 実行せずに画面を閉じます。

● 金額単位サンプリングの場合

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
《サンプルの評価》は、サンプルレコードを抽出した元のテーブルに対して実行します。
2. 種類 (必須) : サンプリングの種類を選択します。金額単位サンプリングで抽出したサンプルのテスト結果の評価をする場合は、「金額単位サンプリング」を選択します。
3. サンプル対象 : 金額単位サンプリングで「サンプル対象」として指定したフィールドを選択します。
4. 信頼度 (必須) : サンプルの信頼度をパーセンテージで入力します。「90%」の場合は、「90」と入力します。
5. サンプルサイズ (必須) : サンプルレコードの件数を数値で入力します。《計算》ボタンでサンプルサイズを算出することもできます。《計算》ボタンの機能は、《サンプリング》コマンドの《サンプルサイズの計算》ボタンと同じです。詳細は、「サンプリング」の「◇サンプルサイズの計算」を参照してください。
6. 項目の計上金額 (必須) : サンプルをテストした結果、誤謬や逸脱があったレコードの金額を入力します。
7. テスト結果の金額 (必須) : テスト結果の金額を入力します。

「項目の計上金額」と「テスト結果の金額」について

例えば、監査手続で、売掛金の残高確認を行った場合、帳簿上の残高と、回収した残高確認書に記載された残高に不一致があった場合は、帳簿上の残高が「項目の計上金額」、残高確認書上に記載された残高が「テスト結果の金額」となります。

8. 《追加》ボタン : 誤謬や逸脱があったレコードが2件以上ある場合は、《追加》ボタンで入力欄を追加します。
1件目を入力して、《追加》ボタンをクリックすると、2件目の入力欄が表示されます。

The screenshot shows a data entry form with three columns: '誤謬' (Error), '項目の計上金額' (Item Accounting Amount), and 'テスト結果の金額' (Test Result Amount). The '追加' (Add) button is on the left. The first row has values 10254700, 10000000, and 7500000. The second row has values 7696700 and 7500000. A red dashed box highlights the second row. Callouts point to various elements: '1件目' (Item 1) points to the first row; '2件目の入力' (Input for Item 2) points to the second row; '1件目の《編集》ボタン' (Edit button for Item 1) points to a pencil icon; and '1件目の《削除》ボタン' (Delete button for Item 1) points to a trash can icon.

誤謬	項目の計上金額	テスト結果の金額
追加	10254700	10000000
	7696700	7500000

9. 《実行》ボタン : 実行します。
10.《キャンセル》ボタン : 実行せずに画面を閉じます。

◇ 実行結果の画面

実行結果は、画面に表示されます。

● レコードサンプリングの場合

「推定上限逸脱率」に評価の結果が表示されます。「推定上限逸脱率」が、「サンプルサイズの計算」で指定した「許容誤謬率」以下であれば、サンプルのテスト結果は有効であったと判断できます。

売上データ × サンプルの評価 ×	
日時	2024/02/14 12:51:38
テーブル	売上データ
コマンド	EVALUATE RECORD CONFIDENCE "90" SIZE "25" ERRORLIMIT "0" TO SCREEN
信頼度	90
サンプルサイズ	25
誤謬数	0
推定上限逸脱率	8.8%

● 金額単位サンプリングの場合

実行結果の画面で表示される「推定上限誤謬金額」の合計金額が、「サンプルサイズの計算」で指定した「許容誤謬額」以下であれば、サンプルのテスト結果は有効であったと判断できます。

KT005_売上データ2017_通期 × サンプルの評価 ×					
日時	2024/05/13 11:13:17				
テーブル	K100_売上2017_レコードサンプリング				
コマンド	EVALUATE MONETARY FIELD [金額] CONFIDENCE "90" ERRORLIMIT "7696700.7500000,10254700.10000000" INTERVAL "26" TO SCREEN				
出力件数	3件				
項目	項目の計上金額	テスト結果	差異額	推定誤謬金額	推定上限誤謬金額
1					718,588.0
2	7,696,700.0	7,500,000.0	196,700.0	196,700.0	196,700.0
3	10,254,700.0	10,000,000.0	254,700.0	254,700.0	254,700.0
合計			451,400.0	451,400.0	1,169,988.0

「推定上限誤謬金額」の合計

◇操作ログ

● 《計算》ボタンの操作ログ

《計算》ボタンを使用した場合は、《サンプルの評価》のログの前に、計算（サンプルサイズの計算）のログが記録されます。

詳細は、「サンプリング」の「◇操作ログ - 《サンプルサイズの計算》ボタンの操作ログ」を参照してください。

● 《サンプルの評価》の操作ログ

➤ レコードサンプリングの場合

EVALUATE RECORD CONFIDENCE “数値” SIZE “数値” ERRORLIMIT “数値” TO SCREEN

※以下の項目は、指定した数値が記録されます。（例）「信頼度」を「90」とした場合：CONFIDENCE "90"

CONFIDENCE（信頼度）

SIZE（サンプルサイズ）

ERRORLIMIT（誤謬数）

➤ 金額単位サンプリングの場合

EVALUATE MONETARY FIELD [サンプル対象フィールド] CONFIDENCE “数値” ERRORLIMIT “1件目の項目の計上金額,1件目のテスト結果の金額, 2件目の項目の計上金額,2件目のテスト結果の金額, ……” INTERVAL “数値” TO SCREEN

※以下の項目は、指定した数値が記録されます。（例）「信頼度」を「90」とした場合：CONFIDENCE "90"

CONFIDENCE（信頼度）

ERRORLIMIT（誤謬数）

INTERVAL（サンプルサイズ）